



石川県 羽咋市

姉妹都市

ふじおか はくい

庭園の紅葉



曹洞宗の古刹  
とうこくせん ようこうじ  
洞谷山 永光寺

正和元年(1312年)に曹洞宗の太祖・瑩山紹瑾禅師によって現在の羽咋市酒井町に創建されたお寺で、山中に曹洞五祖の遺品が安置されている曹洞宗発展史上最も重要な地位を占める古刹です。

建造物や彫刻、古文書などを多数有しており、全国屈指の中世文化財の宝庫といわれています。

また、丁寧に管理された庭園では、四季折々の風景が楽しめる、特に春の桜と秋の紅葉が見事で、市外からも多くの人々が訪れています。

藤岡市の皆さんも、羽咋市へお越しの際にはぜひご覧ください。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課(☎235997)】

No.57

これからの繭の新しい可能性  
～絹の機能性に注目～

藤岡市が誇る世界文化遺産・高山社跡は、蚕の飼育法の「清温育」を全国に広めた蚕業学校でした。清温育は、まだ安定して繭を取るのが難しかった時代に高山長五郎が苦勞して考案した、換気と温湿度をきめ細かく管理することで生産を安定化させる方法です。生産された繭から生糸は作られ、生糸は染め・織りを経て絹織物になります。現在では織物だけでなく、絹の持つ機能性やタンパク質などが注目され、さまざまな研究が進められています。

例えば、身近なところで、絹は化粧品としても利用されています。繭には、中にいるさなぎに対し、紫外線を防いだり、酸化防止効果・調湿調湿機能があたりすることで知られています。蚕糸を構成しているフィブロインやセリシンといったタンパク質の持つ性質がその機能を果たしており、化粧品はこれを利用して開発されています。一方、このタンパク質に注目した

遺伝子組み換え技術により、医療用素材として利用する研究も進められています。タンパク質を加工して、湿潤状態で強度に優れた絹タンパク質のフィルムを作ることで、床擦れや創傷の保護材としての応用が期待されています。人体に有害な物質を使用しないことや、柔軟性や含水性に優れていることなどの利点が活かされています。

このようにさまざまな可能性を持った繭に注目しながら、改めて世界遺産を巡ってみるのはいかがでしょうか。



遺伝子組み換え技術により開発された緑色蛍光シルク繭(県蚕糸技術センター)

# 教えて! 消費生活

## 「訪問購入」トラブルについて

**Q** 自宅に「処分するものはないか。なんでも買い取る」という電話があり来訪してもらった。業者の男性は用意しておいたものはざっと見ただけで「貴金属はないか」と聞いてきた。「ない」と答えたがあまりにもしつこく言われ、仕方なく貴金属数点を1万円で売却した。クーリングオフできないと言われたが本当か。

**A** 事前に電話などで連絡した場合でも「貴金属はないか」などと当初とは違う物品について売却を求めることは禁止されており、取引内容(物品の種類、購入価格、購入業者の名称、住所など)を記載した書面を交付しなければなりません。またクーリングオフが認められており、書面を受け取った日を含めて8日以内はクーリングオフができ、物品の引き渡しを拒むことができます。自動車・家具・家電(携帯が容易なものを除く)・本・CD・DVD・ゲームソフト類・有価証券などはクーリングオフができません。クーリングオフを申し出ても業者によっては「処分した」などと言って商品を返さない場合もあります。売却したくない場合はきっぱりと断りましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

## いまからできる! 日常防災 Everyday disaster prevention

### カセットコンロも立派な防災用品

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

【問い合わせ 地域安全課(☎27444)】



だんだんと寒くなってきて、家族で鍋料理やおでんなど温かい料理を囲むことが多くなっていく季節です。そんな時に活躍するのがカセットコンロ。このカセットコンロは、防災用品としても大活躍します。電気やガスなどの供給が止まった際にはカセットコンロを使用して、お湯を沸かしたり、温かい食べ物を作ったりする



カセットガスを使用する発電機の一例。コンパクトで備蓄の場所も取らない。



2本使用して約2時間の連続使用が可能。

ことができます。以前紹介した、ローリングストックの日常備蓄として、普段より多めにカセットガスを備蓄しておく、長時間活用することができます。

また、カセットガスを使用した発電機もあります。災害時のライフライン対策にいかがでしょうか。